

DISCUSSION PAPER SERIES

COVID-19 感染に関する統計分析と政策提言
その9

米国における COVID-19 感染初期対応策の分析

李 宗儒・雫 梓程・田 歆・朱 家民・翁 静宜・千 暎娥・
周 璋生

2022年8月

RPSPP Discussion Paper No. 47

RPSPP

RITSUMEIKAN : POLICY SCIENCE & PUBLIC POLICY

Policy Science Association
Ritsumeikan University
2-150 Iwakura-cho, Ibaraki,
Osaka 567-8570 Japan

米国における COVID-19 感染初期対応策の分析

立命館大学政策研究科大学院生 李 宗儒・雫 梓程・田 歆・朱 家民
立命館大学政策学部生 翁 静宜
立命館大学サステナビリティ学研究センター客員研究員 千 暲娥
立命館大学政策科学部教授 周 璋生

1. はじめに

2019年12月30日に、中国武漢市で27名の新型コロナ（COVID-19。以下、新型コロナという）感染者が公表され、1月23日には武漢が閉鎖された。2020年2月に、日本の「ダイヤモンドプリンセス」クルーズ船で感染者が発見された後、各国が相次いで感染状況を公表した。結局、この新型コロナは人類を脅かす世界的な大流行（パンデミック）感染症となった。

今回の新型コロナウイルス感染は、第2次世界大戦以来、世界が直面する最大の危機と言われ、人類社会が利益とリスクを共有する運命共同体であることをさらに証明した。この新型コロナの起源と感染経路は、いまだ解明されておらず、科学的かつ客観的な研究調査が求められている。一方、新型コロナの発生原因・感染メカニズムの解明並びに終息・消滅・予防などは、医学、疫学、感染症学、薬学、予防学などは元より、政策科学（政策工学、Policy Engineering）、統計学、経済学、政治学、人類社会学、国際関係学、行動分析学（Behavior Analysis）などの助けも不可欠で、典型的な学際問題である。新型コロナ政策は、認識科学（Dognition Science）に立脚した設計科学（Design Science）である

2020年2月以来、立命館大学政策科学部周研究室の「COVID-19感染に関する統計分析と政策提言」研究チームは、WHO および各国・地域のCDCによって公開された感染関連データに基づき、統計学的および政策工学的手法を通じて、100以上の国・地域における感染特性および対策有効性に関する統計分析を実施している。新型コロナに関する研究のほとんどが、対応の基礎として感染症の医学的観点から感染の伝播のタイミングや規模・特徴に注目している。しかし、伝染パターンは複雑な人間の行動と密接に関連しており、特定の地域にだけ焦点を合わせても、より一貫性のある伝染パターンを見出すことはしばしば困難である。我々の研究では、オープンデータに基づき、大規模なサンプルの地域間比較を通じて、統計的観点から新型コロナの蔓延に共通するいくつかの特徴を観察しようと試みた。

本シリーズでは、統計学、政策科学（政策工学）的視点から、世界、中国、日本、韓国、米国、ニューヨークなどにおける新型コロナ感染状況の特徴を統計分析したうえで、どんな対策を講じていたかを政策分析および総括を行うものである。その研究成果は、「政策科学誌ディスカッションペーパー」として掲載する。

本文は米国の新型コロナ初期感染に関する統計と政策分析を行うものである。

2. 世界の COVID-19 感染初期の特徴

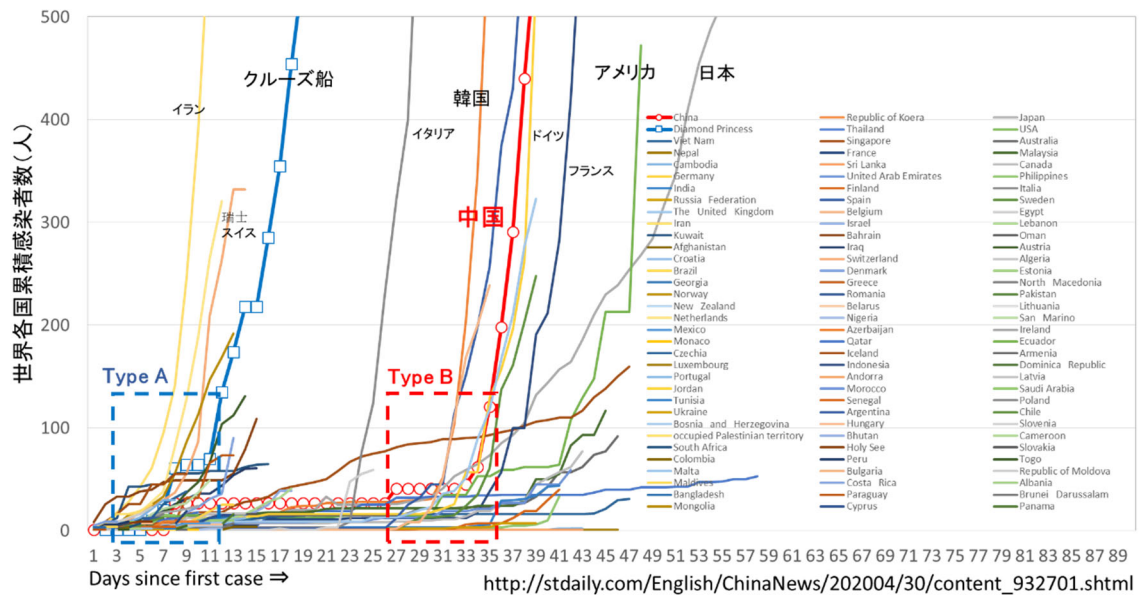
新型コロナの発生源の確定は科学的な問題である。しかし、WHO や各国・地域などが公開する世界 100 以上の国と地域の感染データを分析した結果、感染初期に大きく 2 つの感染タイプに分類することができることがわかった。図 1 は、武漢や「ダイヤモンドプリンセス」クルーズ船をはじめ、最初の感染が発表された後の世界各国の毎日累積感染数をそれぞれ示している。Type A は「クルーズ船型」として、「ダイヤモンドプリンセス」クルーズ船やニューヨークなど高密度で急速な感染の発生が特徴である。高密度とは、いわゆる「三密」（密閉、密集、密接）環境を指す。これは、換気の悪い密閉空間に居ること、多くの人々が密集した場所に居ること、および近距離での密接した会話をすることを意味する。Type B は、「都市型」として、武漢、中国、日本、米国、韓国など都市での感染症で多く見られ、世界のほとんどがこのタイプである。図 2 は武漢、ニューヨーク、韓国、東京、北海道、日本など特定の地域における感染曲線と大規模感染爆発までの潜伏時間を示している。

WHO は、新型コロナの人間身体内での潜伏期間（ここで、「身体型潜伏期間」と称す）はおおよそ 1~14 日間で、感染してから症状を発症するまでの平均期間は 5~6 日ほどと報告している。

図 1 と図 2 からわかるように、最初の感染者の発見から大規模な感染の発生までの潜伏期間（ここで、上述の「身体型潜伏期間」と区別し、「社会型潜伏期間」と称す）は、Type A は約 7 日（1 週間）程度で、身体型潜伏期間 14 日の約半分になる。この結果から、クルーズ船のような「三密」環境においては、感染の加速と拡大に助長する可能性が高いことが伺える。一方、Type B の社会型潜伏期間は 30 日前後（約 4 週間）程度で、身体型潜伏期間の約 2 倍となる。すなわち社会型潜伏期間が、身体型潜伏期間より 2 倍ほど長いことを示している。

上記の統計結果は、国や地域全体での発生に関するデータに明確な共通性があることを示している。この発見に基づいて、最初の感染者が発見されてから 1 か月以内に新型コロナの蔓延防止に対する断固たる対応をとることが非常に重要であることが考えられる。さらに、最初の感染から大規模発生までの最長潜伏期間は約 4 週間であるため、検疫期間が一般的に実施されている 2 週間から 4 週間に変更することを勧める (ZHOU,2020)。すなわち「2 週間隔離+2 週間観察 (2+2)」対応は、より感染拡大防止に有効的であると考えられる。中でも、後の 2 週間の検疫と観察の方法は、各国や地域の状況に応じて異なる方法で処理できる。現在、中国ではすでに「2+1」、「2+2」または「2+1+1」を一部の地域で実施している（中国各地入境隔離政策、2021）。一方、イスラエルのように、隔離時間を条件付き（1 週間隔離後 PCR 検査で陰性であるもの）で、2 週から 1 週間に短縮する国もある。

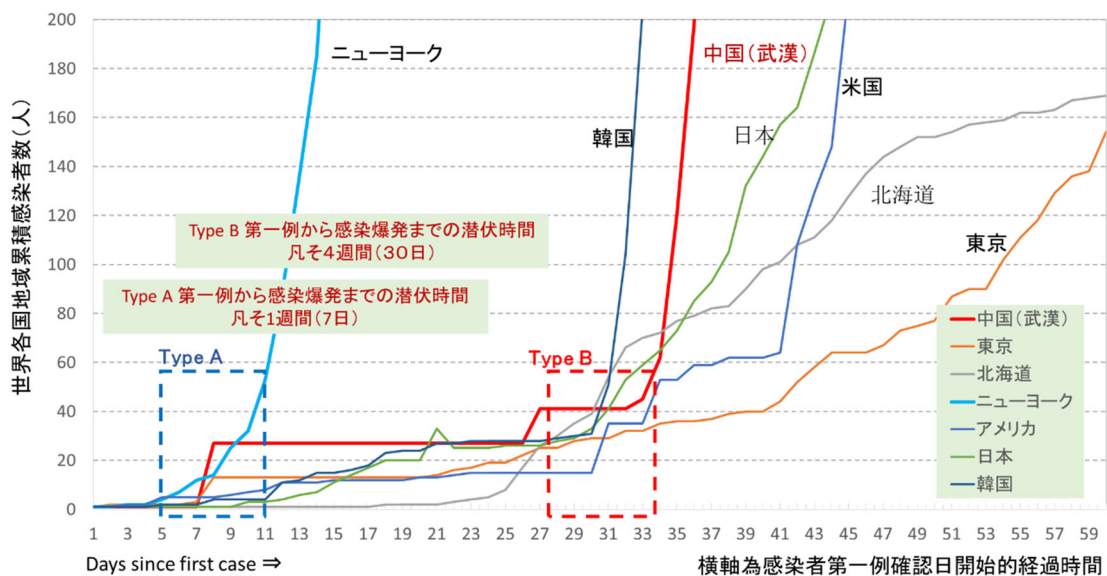
新型コロナ感染の初期段階における特徴は、統計分析により「クルーズ船型」と「都市型」に分類することができた。これは、より効果的な対応を検討する上で、有効活用できるものと考えられる。しかし、集団を介した感染メカニズム、特に変異株ウイルスはいまだ明確化されていないため、医学、行動科学、さらには社会学などの学際的なアプローチで分析する必要がある。



出典: WHO公開データより、立命館大学周研究室/国際3E研究院作成

図 1. 世界各国の初期新型コロナ感染特徴分類と感染爆発までの潜伏期間

出典: WHO (2021), compiled by the authors.



出典: WHO公開データより、立命館大学周研究室・国際3E研究院作成

図 2 世界各国の初期新型コロナ感染特徴分類と感染爆発までの潜伏期間

出典: WHO (2021), Tokyo Metropolitan Infectious Disease Surveillance Center (2021), Hokkaido Government (2021), New York Government (2021), compiled by the authors.

3. 米国の初期感染 3 段階

世界保健機構（以下、WHO）のデータによると、2020年5月17日現在、米国で確認された感染者数は140万9,452人、死者数は8万5,860人に達している。感染状況が示された図

1のように、3月20日以降、新型コロナウイルス（以下、新型コロナという）感染症は、大規模で発生していたことが確認された。一方、米国の対応策から見ると、新型コロナの拡大状況によって三段階に分けられる。

第一段階は、輸入感染症例の防止と国内の大規模な感染拡大を防止するための準備段階であり、米国では、1月21日に初の新型コロナ感染者が確認されたものの、3月20日まで、米国政府の主な対応策は、輸入感染症例の防止と公共地域の衛生基準を定めることであった。

第二段階は、国内の新型コロナ感染症への対応である。米国では、3月20日から5月11日まで、自宅隔離に関する措置が始まった。米国は、この時点で、国内で爆発的な拡大が進行していた感染症への対応が始まった。

第三段階は、業務再開の準備段階であり、5月11日から今まで米国各地での相次いだ業務再開に伴い、米国疾病予防管理センター（以下、CDC）によって各職場で新型コロナ感染拡大の防止に向けた指導が始まっている。

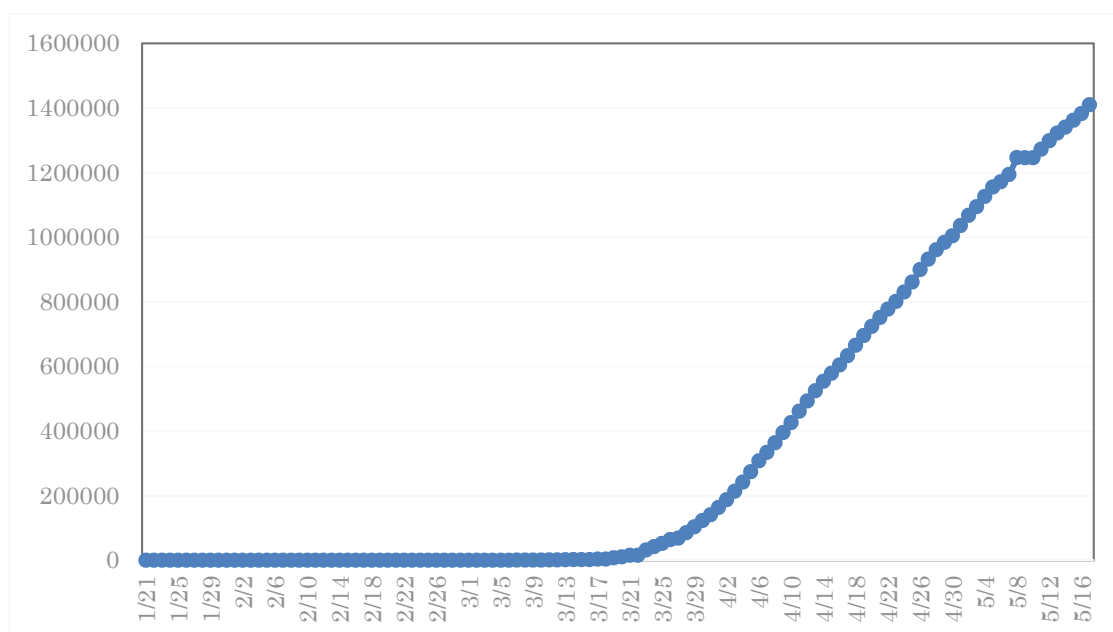


図1 米国における新型コロナ感染者数の推移（2020年1月21日～5月16日）

出典：世界保健機構（WHO）より作成

3.1 国内で新型コロナ感染が大規模に爆発する前の準備段階（1月21日～3月20日）

この段階において米国で確認された感染者数と関連対策は、下記の図2のように示されている。米国政府は2月18日、「船舶管理において新型コロナ感染が疑われる場合に関する臨時ガイド2019」を発表した。2月29日には、大規模な感染症への対応策を発表し、海外留学プログラムの中止を呼びかけ、海外に滞在している米国人学生の帰国を検討してい

た。3月9日以降は、米国での感染者数が増加傾向にあることによって、学校や投票所など、公共地域に向けての感染防止対策が相次いで発表された。また、3月14日には強制的な禁航令が発令され、米国領海内のすべてのクルーズ船の運航と共に観光客の乗船も禁止された。そして、個人防護具のサプライチェーンの最適化にも着手している。

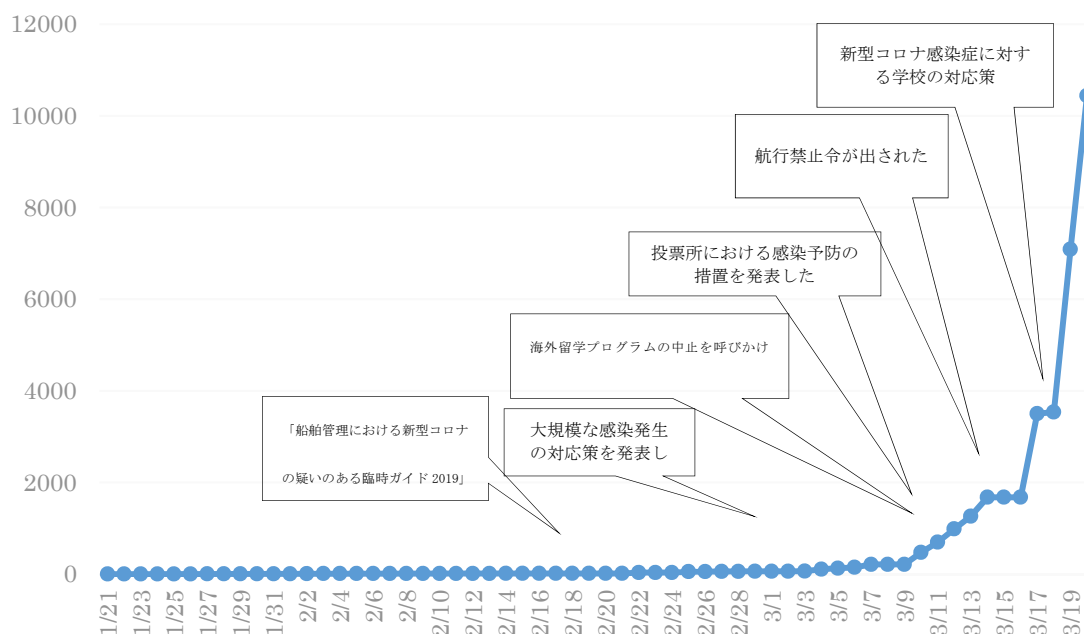


図2 米国国内の新型コロナ感染の発生状況及び米国政府の関連応対策 (2020年1月21日～3月19日)

出典：世界保健機関及び米国疾病予防管理センター（CDC）公式サイトより作成

第一段階における米国政府の具体的な政策は、表1に示すように、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」で新型コロナ集団感染が確認されたため、2月18日に「船舶管理において新型コロナ感染が疑われる場合に関する臨時ガイド 2019」を発表し、船舶の管理を強化するとともに、2月21日から入国者への検疫を開始した。そして、2月29日には、国内での大規模な感染症への対策を打ち出した。また、3月9日には、海外留学プログラムの中止を呼びかけ、海外からの留学生の受け入れを検討している。3月9日以降は、感染者数の急激な感染拡大により、投票所、診療所、学校などの公共地域で、感染防止の勧告を始めた。また、医療関連の物資を準備し、新型コロナの危険性について公表している。

表1 米国政府の具体的な対応策 (2020年1月21日～2020年3月19日)

日付	関連措置及び関連書類
2月18日	「船舶管理において新型コロナ感染が疑われる場合に関する臨時ガイド」

	<p>2019」を公表 英文名：Interim Guidance for Ships on Managing Suspected Coronavirus Disease 2019</p> <p>目的 新型コロナ感染症を予防、検出、管理するために、米国、または米国に停泊している船舶に対し、感染症管理に関するガイダンスを提供し、ウイルス感染症の拡大を防ぐ。</p> <p>乗客には、以下のような対応を勧める：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病気の時、旅行を延期する。 2. 健康管理に気を配る。 3. 発熱（38度以上）、またはその他の症状が出た場合は、医療センターに連絡し、自己隔離する必要がある。 4. 感染を防ぐために手洗いなどの衛生習慣に注意を払う。 <p>患者が出た時：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者にマスクを着用させる（N95ではなく、外科マスク） 2. 患者を個室に隔離し、可能であれば患者を空気感染隔離室に隔離する 3. 部屋に入るスタッフは、標準的な予防措置を取ること <p>乗務員の感染防止：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乗務員が新型コロナ感染の危険及び症状を認識していることを確認する。 2. 乗務員が患者と接触する際の規範を提供する。 <p>下船時の患者管理 船内に患者が現れる際に米国疾病予防管理センター（以下、CDC）検疫所と連絡を取り、船外への搬送を確実に行う。 船舶物資の提供及び消毒に関する基準を定める。</p>
2月21日	<p>「海外から入国した新型コロナ感染者、または、その可能性のある患者の受け入れのための医療従事者向けの間診リスト」を公表 英文：Healthcare Professional Preparedness Checklist For Transport and Arrival of Patients With Confirmed or Possible COVID-19</p>
2月29日	<p>感染症が大規模に発生した場合への対応を発表した。</p> <p>主な目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発症率と死亡率を下げる

	<p>2. ウイルス感染を最小限にする 3. 医療従事者を保護する 4. 医療システムの機能を保証する</p> <p>関連措置</p> <p>1. 医療関係者に対し、新型コロナ感染症の認識を強化する 2. 対面や近距離での接触に代わる他のコミュニケーション手段を開発する 3. 個人用防護具(N95 マスク)の供給を最適化する 4. 新型コロナ感染者を含む呼吸器疾患のある患者を適切に看護する。</p> <p>感染爆発した場合</p> <p>1. 各州、地域ごとの保健機関を通じて、新型コロナ感染症の爆発状況を確認する 2. 特定人員が新型コロナウィルスの感染確認、または疑いのある患者のケアをして、感染予防及び個人用防護具に対する適切な使用方法についてトレーニングを受けていることを確認する。 3. 医療システムの運営を維持するために必要な人員を確保する 4. 軽症の患者には自宅療養を勧める</p> <p>これに加えて、問診施設、入院施設、長期介護施設の資源を最適化する</p>
3月6日	自宅における新型コロナ感染症の防止に関するガイドライン
3月9日	<p>「新型コロナ感染症に伴う海外旅行や海外留学に関するガイドライン」を 発表した</p> <p>英文名：Guidance for Institutions of Higher Education with Students Participating in International Travel or Study Abroad Programs</p> <p>留学プログラムの中止や延期を勧告し、在米留学生の帰国を勧めると同時に 海外に滞在している米国人学生を帰国させることを検討・助言する。</p>
3月10日	<p>米国の新型コロナ感染症に対する緊急医療サービスシステム(EMS)と「パ ブリックセキュリティ対応」(PSAP)の臨時ガイドラインを発表した。</p> <p>英文名：Interim Guidance for Emergency Medical Services (EMS) Systems and 911 Public Safety Answering Points (PSAPs) for COVID-19 in the United States</p> <p>第一線で働くスタッフ(法執行機関、消防、救急医療、緊急管理の関係者)の ための指導を行った。</p> <p>医療従事者向けに、新型コロナ感染症患者と疑い患者のケアに関する基準 を発表した。</p>

	<p>医療従事者に新型コロナ感染者へのケア方法を指導した。</p> <p>「投票所の選定に関する提言」を発表した 投票所などの施設を消毒することによってウイルスの増殖を抑え、感染を減らす。 公務員へのアドバイス： 投票所の人数と触れ合う機会を減らす できるだけ、郵送による投票の手続きを行う 期日前投票を呼び掛けて、有権者を分け、有権者間の接触を最小化する。 選挙区で認められた場合、資格のある有権者の投票を奨励する。 有権者には人通りと交通量の多い時間帯を避けて投票するように勧める。 高齢者や慢性疾患患者に対する新型コロナの感染のリスクを最小限に抑えるために、老人ホーム、長期ケア施設、高級住宅地から投票所を移転することを勧める 社会的隔離等の他の措置を検討する スタッフへの衛生保護と集団感染を防ぐためのアドバイスを提供する。</p>
3月11日	<p>クリニックへのアドバイスを発表した。 患者が診察を受ける前（消毒薬を用意し、遠隔医療を行うべきかどうかを検討する）、診察時（他の患者と隔離し、マスクなどの防護品を提供する）、受診後（関係機関に症状を報告し、消毒を行う）</p>
3月14日	<p>「Covid-19」の臨床判断基準を発表した。</p> <p>個人用防護具のサプライチェーンを最適化した。</p> <p>「Covid-19」の危険性やそれに伴う防護対策、防護装備について法執行機関に知らせた。</p> <p>大型イベントを行う時に「Covid-19」を防ぐための注意事項が発表された。</p> <p>航行禁止令を出し、すべてのクルーズ船が米国の管轄水域で運航することと新規の乗客がクルーズ船に乗船することを禁止した。</p>
3月16日	<p>免疫力が低下する「Covid-19」の回復者を14日以上隔離する等、隔離解除の基準を発表した。</p>
3月17日	<p>マスク、防護服、ゴーグルのサプライチェーンを最適化した</p> <p>クルーズ船の旅を延期、またキャンセルを呼びかけ、過去14日間クルーズ船に乗っていた場合は、14日間の自宅隔離を呼びかけた。</p>
3月18日	<p>大学キャンパスで感染が発生する場合への対応や感染対策を発表した</p>
3月19日	<p>新型コロナ感染症はK-12（米国の基礎教育システムの通称で、幼稚園から高校までの12学年を表す）キャンパスで発生した場合の対応と学校防疫への対応について発表した。</p>

国内で感染症が大流行する前の準備段階における米国政府の問題点は、以下の通りである。

1) 米国政府は、新型コロナウイルス感染症発生の初期段階では、それを重視していなかった。

米国では1月21日に最初の病例が確認されたが、2月中旬から下旬になって、ようやくコロナ感染症の対応策を講じ始め、その結果、初期段階では感染拡大を抑えることができなかった。3月9日以降、米国でコロナ感染の急激な拡大傾向が見られたことから、米国政府による公共の場での様々な対策が提示されるようになった。

2) 感染症の感染拡大の兆候があった時に、徹底した防疫措置が取られていなかった。

米国の新型コロナウイルス感染者数は3月9日以降、爆発的な増加傾向を示した。しかし、米政府は、厳しい防疫対策を行わず、あらゆる社会活動が続いたため、その後の大規模な流行に繋がった。

3) 政策の実行力不足である。

米国政府が発表した措置はすべて勧告で、絶対的な強制力がないため、こうした米国の政策は、防疫時に十分な効果を発揮することが困難であった。

3.2 国内感染症の対応段階（3月20日～5月11日）

この段階における米国国内の感染状況および関連対策は、図3の通りである。

CDCは、国内での感染拡大の影響を受け、各地域(コミュニティ、老人ホーム、ホームレスの密集地域など)への予防措置と対応策について発表し始めた。米国政府は4月30日、感染症が深刻な国への渡航歴がある外国人の入国を禁止した(国: イラン、オーストリア、ベルギー、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、リヒテンシュタイン、アイスランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スロバキア、スロベニア、サンマリノ、スウェーデン、スイス、モナコ、バチカン、イギリス、アイルランド共和国)。一方、米国では、検査数の増加に伴い、医療従事者の人手不足が深刻化していた。米国は4月1日から医療従事者の保護を強化していたが、感染が深刻化するにつれ、医療関連物資の不足も深刻化していた。

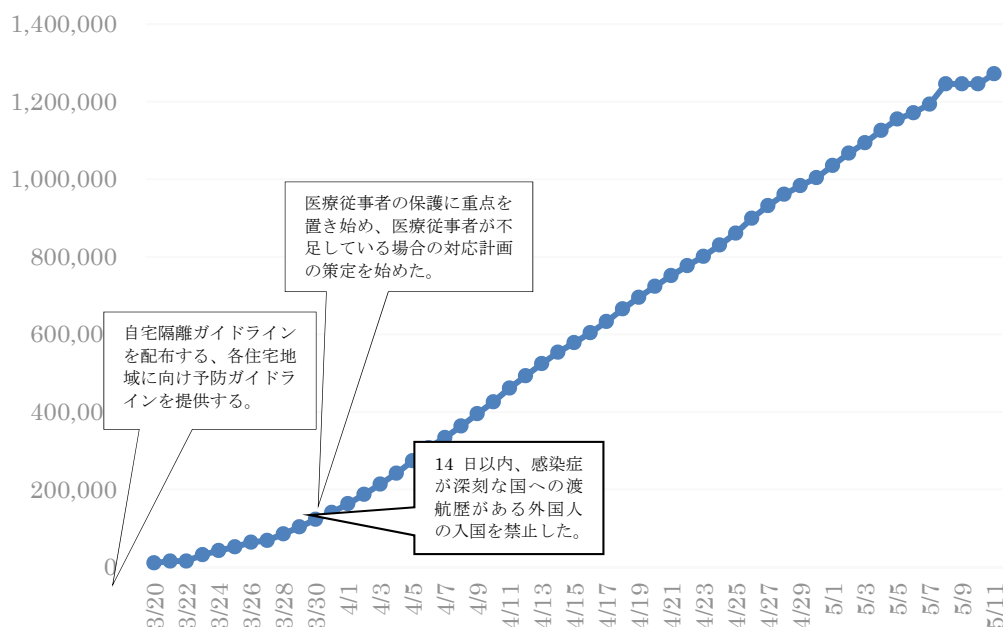


図3 米国国内の新型コロナウイルス感染症の状況と米国政府の対応策
(3月20日から5月11日)

出典：世界保健機関及びCDCの公式サイト資料より作成

国内での新型コロナウイルス感染症の対応段階で、米国政府の具体的な対応方針は、表2のように、初期の段階でリスクの高い人々(高齢者、心臓病、糖尿病などの病気を患っている人)の保護に重きを置いていた。しかし、検査数の大幅な増加に伴い、医療従事者の人手不足が深刻化していた。4月13日にはCDCの医療従事者の人手不足への対応策として、無症状の患者が他の患者の世話をすることも認められていた。この段階の米国政府の新型コロナウイルス感染症対応策は、感染症の大規模な流行への対応から医療機能の維持に転換されていた。

表2 米国政府の具体的な対応措置(2020年3月20日～2020年5月11日)

日付	関連措置
3月20日	自宅隔離に関する臨時ガイドライン 英文名：Interim Guidance for Implementing Home Care of People Not Requiring Hospitalization for Coronavirus Disease 2019 (COVID-19)
	医療機関はすぐに新型コロナウイルス感染症への対応を準備する必要がある 英文名：Steps Healthcare Facilities Can Take Now to Prepare for COVID-19 準備段階 1. 地元の新型コロナウイルスの感染状況を把握する。 2. 関連施設の点検

	<p>3. 地域の公衆衛生機関との連携</p> <p>4. 緊急連絡先リストの作成</p> <p>スタッフ向け</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器疾患のある訪問者に対し、その症状を確認する。 2. 感染者と密接に接触する際には、必ず防護具を着用する。 3. 利用可能な防護具を点検し、防護具の供給を最適化する。 4. 病気(呼吸器疾患の症状)になった人には自宅療養を勧める。 <p>感染者向け</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染者の最新情報を把握し管理する。 2. 感染者を他の患者と区別し、感染者がすぐに受診できるようにする。予約や遠隔診療、時間調整などを通じて、自宅で隔離されていた患者が病院を訪れて他の患者と接触することを防ぐ。 <p>高齢者コミュニティや独居者向けの感染拡大防止に関する臨時ガイドライン</p> <p>英文名：Preventing the Spread of COVID-19 in Retirement Communities and Independent Living Facilities (Interim Guidance)</p> <p>対象のコミュニティ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 低・中所得の高齢者向け公営住宅 2. 医療サービスのないアシステッドリビングホーム 3. 介護老人ホーム（中国の老人ホームのようなもの） <p>対象のグループ</p> <p>医療機関のないコミュニティや ILF のオーナー、管理者、オペレーター、従業員、ボランティア、訪問者、居住者</p> <p>関連措置</p> <p>管理人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不要不急の集団活動を避ける。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 集団接触を減らすためにスケジュールを変更する(集団食事を含む)。 2) 外部の参加者を制限する。 3) グループ活動がある場合、参加人数は 10 人以下で、参加者間の距離は 6 フィート以上でなければならない。
--	---

<p>4) 共同で食事をする場合、座席間は6フィート以上の距離を確保する。</p> <p>2. 公共エリアと公共施設の清掃・消毒</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 毎日公共エリアを消毒する。 2) 頻繁に触る場所(ドアノブ、蛇口、エレベーターボタンなど)の消毒に注力する。 3) 従業員全員が規則に従って消毒を行っていることを確認する。 <p>3. 居住者、ボランティア、作業員、訪問者などへの新型コロナに関する啓蒙活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 関係者同士の接触を減らし、接触する場合は一定の距離を保つ。 5. 居住者との連絡を取り合う 6. 不要不急の訪問者の数を制限する。 7. スタッフの健康状態を注意深く見守り、呼吸器症状があるスタッフが出た場合は自宅で療養させる <p>住民</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人の衛生を重視し、密接な接触を減らす。 2. 関係者との連絡を取り合う 3. 主な介護者を確保する一方、日常のケアが中断されないように代替介護者を確保する必要がある 4. できるだけ多くの処方薬を持っておく。 5. 屋内を消毒する。 <p>ボランティア、訪問者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な訪問回数を減らす。 2. 訪問時に個人用保護具を準備する。 3. 居住者と接触する際には、6フィート以上の距離を保つ。 4. ボランティア活動をする際には、団体旅行（特にヨットや飛行機での旅行）を避ける。 5. 身体状況・体調に注意する <p>関連スタッフ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 標準的な感染予防策を管理する。 2. 住民との社会的距離を維持する。 3. 新型コロナの関連症状（発熱、のどの痛み等、風邪のような症状）がある場合、自宅療養すべきである。

	<p>感染が確認された場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地元の保健当局と調整する。 2. 居住者、ボランティア、スタッフと連絡を取る（新型コロナ感染のリスクを人々に知らせるため）。 3. 14日間の自宅待機・隔離を要求する。 4. 徹底的な消毒と洗浄を行う。
	<p>人工呼吸器の割当基準を導入</p> <p>人工呼吸器のニーズを評価し、生命維持を最大化する観点からそれらを割り当てる。</p>
3月22日	<p>関連スタッフの安全を保護するために、採血および血漿採取ステーションに関するガイドラインを発表</p> <p>ホームレスの人々の間で新型コロナ感染を防ぐための措置を発表した。</p> <p>ホームレスキャンプへの対応</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホームレスの人々が別の住居を確保することができない場合には、ホームレスの人々が分散するのを防ぐためにホームレスキャンプを残す。 2. キャンプにいるホームレスの人々にテントを張ることを奨励し、12×12フィートのパーソナルスペースを確保する。 3. ホームレス周辺のトイレに衛生用品（石鹸、消毒剤など）が用意されていることを確認する。 4. 周辺にトイレがない、10人以上のホームレスの集いの場所に移動式トイレを提供する。 <p>関連情報を提供する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホームレスの人々にその地域の新型コロナの感染状況に関する情報を提供する。 2. ホームレスの人々に様々な衛生習慣を教える。 3. ホームレスの人々に COVID-19 の認識方法と自己検疫する方法について説明する。
3月23日	<p>《新型コロナ感染症における計画・準備・対応するためのコミュニティおよび宗教団体の指導者向けの暫定ガイドライン》を発表した。</p> <p>英文：Interim Guidance for Administrators and Leaders of Community- and Faith-Based Organizations to Plan, Prepare, and Respond to Coronavirus Disease 2019 (COVID-19)</p> <p>対象のグループ</p>

	<p>教会や礼拝所（教会、シナゴーク、モスク、寺院など）、社会奉仕活動団体、その他の非営利団体、コミュニティ組織の管理者、指導者</p> <p>発生していない場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急時の計画を確認、実施、更新する。 2. 健康と衛生対策の広報と強化 3. 消毒と洗浄の強化 4. 欠席や、出席を監視して、病人を自宅で療養させる。 5. 重要でない集会を延期、または中止する必要性について検討する。 6. 施設内で感染者が確認された場合の対応基準を改善する。 <p>感染の有無</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の保健所と調整する。 2. 徹底した消毒と滅菌を行う。 3. 基本的なサービスが提供されることを保証する。 4. 関係者（スタッフ、ボランティアなど）とのコミュニケーションを維持する。 <p>コミュニティで中程度のレベルの感染症が発生している場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の保健所と協力する。 2. 発生していない時と同じ戦略を採用する。 3. 社会的距離を維持するための対策を開始する（対面の機会の延期、もしくは、小規模な集まりに移行） 4. 基本的なサービス（食事、交通）を提供するための代替手段を検討する。 5. メンタルヘルスとメンタルヘルス関連サービスを提供する。 <p>感染症が発生した場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 引き続き地元関係者との調整 2. 規模を問わず、地域の信仰の集まりを中止、または延期する。 3. 施設の閉鎖の延長、または重要でないサービスの使用を制限することを検討する。 4. 組織が地域の保健当局とどのように協力できるかを検討する（隔離施設の提供、食品、水、医薬品の集中配給所の提供） 5. 人々の精神的健康と情緒的健康に焦点を当てる。
3月27日	家庭での新型コロナ感染を予防するための詳細な計画ガイダンスを発

	<p>表した。</p> <p>英文：Get Your Home Ready Detailed Planning Guidance</p> <p>地域社会で新型コロナが発生する前（準備段階）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭向けの行動計画の策定 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新型コロナ蔓延防止計画 2) 重篤な合併症を持つリスクの高い患者向けの医療計画を策定する。 3) 隣人への理解を深める。 4) コミュニティ内の医療機関を確認する。 5) 基本的なサービスを確保するために、緊急連絡先（医療スタッフ、教師、運転手など）のリストを作成する。 2. 良好な衛生習慣を身につける。 3. 学校閉鎖の準備 4. 在宅勤務の準備 <p>地域社会で新型コロナが爆発的に発生した場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的距離を維持し、患者との接触を避け、症状が出たら自宅で療養するなど、自分と他人を守るための対策を講じる。 2. 家族に関する行動計画を策定する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新型コロナの感染状況を把握する。 2) 病気になった場合は、自宅隔離をする。 3) 良好な衛生習慣を維持する。 4) 自宅に患者のための隔離室とトイレを用意する（可能な限り） 5) 電話、または電子メールで家族や医療スタッフと連絡を取り合う。 6) 家族の心のケアに注意を払う。 3. 自宅に患者がいる場合は、在宅勤務に申し込む必要がある。 <p>子供の保護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新型コロナ感染が確認された場合は学校に連絡する。 2) 学校休業の情報を確認する。 3) 公共の場所で子供や若者の集まりを開催する。 <p>地域での新型コロナ収束後</p> <p>常に免疫との戦いの経験を共有し、家族のメンタルヘルスに注意を払う。</p>
3月28日	家庭用消毒ガイドラインを発表した。
3月30日	新型コロナ感染が深刻な国には14日以内の渡航禁止（中国、イラン、

	<p>オーストリア、ベルギー、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、モナコ、サンマリノ、バチカン市、イギリス、アイルランド共和国)。米国市民、またはグリーンカード保有者、グリーンカード保有者の近親者の入国は許可されるが、帰国後は自宅などで隔離されることになる。</p> <p>新型コロナ専用相談窓口の設置</p>
4月1日	<p>医療従事者がコロナ感染予防に関する一般的な質問に解答する。</p> <p>コミュニティ施設の清掃と消毒に関する暫定的な推奨事項を発表した。</p>
4月3日	防護服の正しい着用方法を実演した。
4月4日	社会的距離を維持することの重要性を強調した。
4月6日	<p>新型コロナの症状、感染の原理、およびその他の関連する臨床知識について一般の人々に知らせるための新型コロナ感染症の診断に関する暫定的な臨床ガイドラインの最終更新を行った。</p> <p>妊婦の新型コロナに関する注意事項を更新した。</p> <p>新型コロナの高リスク基準の公表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 65歳以上の高齢者 2. 重篤な基礎疾患（心臓病、呼吸器疾患、糖尿病など）のある患者 <p>《米国以外の医療機関における感染予防および管理戦略》を発表した。 英文名：Strategic Priority Infection Prevention and Control Activities for Non-US Healthcare Settings</p> <p>米国以外の医療現場で COVID-19 が疑われる医療従事者や入院患者を特定するための運用上の注意事項</p>
4月7日	<p>障害者が新型コロナを感染するリスクが高いことを考慮し、障害者に対する追加的な対応策を講じるように指示した。</p> <p>水回りの衛生管理に関するガイドラインを提供した。</p> <p>感染拡大防止のための外来サービスなどのプライマリーヘルスケアサービスの確立</p> <p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般市民と医療従事者の間での病気の蔓延を最小限に抑える。 2. 医療資源の合理的な配分 3. 患者数の増加による救急科や病床への負担を軽減する。 4. 個人用保護具を最大限に活用する。

4月8日	<p>歯科病院向けのガイドライン</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不要な歯科手術を延期、または中止する。 2. スタッフや患者と積極的にコミュニケーションを取り、健康状態を把握する。 3. 新型コロナ感染症患者が診療所に現れた時の対処法を理解する。
4月9日	<p>「新型コロナ感染症（COVID-19）に対する企業と雇用者の計画・対応のための暫定ガイドライン2019」を発表した。</p> <p>Interim Guidance for Businesses and Employers to Plan and Respond to Coronavirus Disease 2019 (COVID-19)</p> <p>目的：医療機関以外での新型コロナ感染拡大防止</p> <p>対応策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 従業員の間での新型コロナ感染拡大を防ぐ（症状のある従業員への在宅勤務の奨励、新型コロナの感染経路の把握、感染が確認された従業員の隔離など）。 2. 従業員の健康と会社の正常な事業運営の最大化（柔軟な病欠と支援策の実施、新型コロナの感染者数の増加により欠勤が多くなった場合の危機管理措置を確認し、社会的距離を維持するための方針と慣行を策定する） 3. 健康的な作業環境を確保する（必要換気量の確保、従業員の良好な衛生管理の確保）。 <p>アンチウイルスマスクの除染と再利用の方法を公表した。</p> <p>《現在の新型コロナ感染症パンデミックにおいて、診療所や現場の患者との対面を必要とする新型コロナ感染症以外の公衆衛生活動の取り扱いに関する CDC の暫定ガイドライン》を発表した</p> <p>英文名：Interim CDC Guidance on Handling Non-COVID-19 Public Health Activities that Require Face-to-Face Interaction with Clients in the Clinic and Field in the Current COVID-19 Pandemic</p> <p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生関係者（医療関係者、非医療関係者）の感染リスクを軽減する。 2. 新型コロナの医療施設での感染リスクを軽減する。 3. 地域の医療施設の関連機能を確保する。

	<p>関連措置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会における新型コロナ感染拡大に関連する特性に応じて、異なる優先順位を設定する。 2. 対面式医療活動の規範と戦略の標準化 3. 公衆衛生関係者が直面するリスクを評価し、そのリスクを軽減するための適切なアドバイスを提供する（アルコール、ペーパータオル、非接触型のゴミ箱およびその他の関連資料の提供、専門家による保護トレーニングの実施、作業環境の換気の確保、非懲戒の病気休暇制度を設ける）。 4. 院内の保護策を強化する（安全なトリアージとトリアージ時の接触を減らすためのバリアの設定、施設に入る人数を一度に10人以下に制限、患者への手指消毒剤とマスクの提供、診察中のマスク着用、患者間の接触距離の維持）。 5. 地域の公衆衛生担当者の保護を強化する。 6. 地域での感染拡大を防ぎ、地域の医療機関の基本的な機能を保証する（遠隔医療、在宅勤務、開発お促進、症状のある人の自宅隔離の奨励、スタッフや個人用保護具が不足した場合の緊急時対応策の策定）
4月10日	<p>検疫を解除するための基準を公表した。</p> <p>家族の基本的なニーズを満たすために関連する提案の提供</p>
4月11日	<p>サマーシェルター（公共の空調室）の感染予防へのモニタリング強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭用エアコンの使用補助金支給など、低所得者向け家庭エネルギー支援プログラムを通じて（Low-income Home Energy Assistance Program）サマーシェルターの利用者数を減らす。 2. 配置された新入社員のために、柔軟な病欠および出勤システムを開発する必要がある。 3. 条件が許せば、サマーシェルターの利用者は、施設に入る前に体温検査を受けるべきである。 4. 社会的距離を維持する。 5. サマーシェルターの必要換気量を確保する。 6. 感染者が確認された場合は施設を消毒する。 7. 新型コロナに対する広報の強化 8. 条件が許せば、スタッフと利用者に石鹸、アルコール、マスク、その他の保護具を提供する。
4月12日	<p>営業中の保育施設向けのガイドラインを提供した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナ感染拡大を抑制する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 日常の予防策を講じる（衛生習慣を維持し、子供たちが手を洗い、

	<p>消毒し、誤ってアルコールを摂取しないように監督しながら社会的距離を保ち、2歳以下の子供にはマスクを着用させない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2) 子供の体調不良のサインを読み取ること、症状のあるスタッフは、在宅で療養する。 3) 新規感染者に診断された場合は、緊急対応措置を講じる（隔離エリアを設定し、CDCのガイドラインに従い、患者の使用エリアを封鎖し、消毒を実行する） <p>2. 保育所の運営を継続する場合は、以下のような対策が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会的距離を確保する。 2) 消毒と洗浄力の強化 3) 送迎の流れを変更する（保護者は施設に入る前に手を洗って消毒する。送迎時間をずらすこと、高齢者やその他の重篤な基礎疾患のある人の送迎を控える）。 4) 38度以上の発熱者の施設への立ち入りを禁止する。 <p>《医療機関における新型コロナウイルス感染症が疑われる患者、または感染が確認された感染者に対する暫定的な感染予防および管理の推奨事項 2019 (COVID-19)》(4月12日最終更新)を発表した。</p> <p>Interim Infection Prevention and Control Recommendations for Patients with Suspected or Confirmed Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) in Healthcare Settings</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者との接触を最小限にする。 2. 医療従事者は、新型コロナウイルス感染症患者の病棟に入る際には、隔離用のガウン、手袋、マスクを着用し、隔離エリアを出る前に、保護具を指定された容器に入れて洗浄・消毒をする必要がある。 3. 患者を適切に配置する（入院する必要でないと考えられる場合は、可能な限り自宅で療養するように勧める。新型コロナウイルス感染症患者は、他の呼吸器疾患の患者から分離し、可能であれば、患者の部屋で診察し、患者が退院や他の病院に転院した後、入室前に広い部屋で十分に換気されていることを確認して入る必要がある） 4. 新型コロナウイルスの空気感染を抑制するために、患者をケアする医療従事者は、N95、またはN95よりも高い保護性能を持つマスクを着用する必要がある。 5. 新型コロナウイルスに対するサンプルの採取と処理措置を規範化する。 6. 面会者の管理を強化する（面会時間を指定し、面会者と患者の関係に応じて面会の可否を判断する。リモートコールなどの代替手段を奨
--	--

	<p>励する。他の病気の患者への面会の場合は、指定されたエリアで制限された場所で行い、面会者の活動範囲を制限する。新型コロナウイルス感染症患者への訪問である場合は、面会者の行動範囲を制限し、隔離服などの保護具を着用させる必要がある。</p> <p>7. 医療施設のハード対策を確保（患者を隔離するためのバリアの設置、空調設備の整備など）</p> <p>8. 医療従事者の健康管理（新型コロナウイルスの症状が疑われる医療従事者を優先的に検査・発見し、新型コロナウイルス感染拡大による医療従事者の不足に備えて、非懲戒の病気休暇制度を設ける）。</p> <p>9. 医療従事者のトレーニングと教育を強化する。</p> <p>10. 医療施設の衛生的な環境を確保する（消毒の強化、食品容器など適切に洗浄する義務、医療廃棄物の適切な処理）。</p> <p>11. 医療機関内での情報共有と公的機関との連携を促進する。</p>
4月13日	<p>医療従事者の職場復帰に関する基準を発表</p> <p>医療従事者の不足を解消するための戦略を発表</p> <p>1. タイムテーブルの調整、医療スタッフの増員、必要のないプロセスをすべて中止する。</p> <p>2. 新型コロナウイルスの医療機関を指定し、適切なスタッフのケアを確保する。</p> <p>3. 深刻な人手不足の場合、優れた医療従事者が新型コロナウイルス感染症から回復して職場に復帰する際に「医療従事者の職場復帰基準」の条件をすべて満たす必要はない。</p> <p>4. 症状のない医療従事者が働き続けるようにする。</p>
4月14日	<p>地域社会における感染症の発生・蔓延を抑制するための戦略を発表</p> <p>コミュニティを抑制し、社会的スキルを維持するためのガイドラインを設定</p> <p>学校閉鎖に関するガイダンスを公表</p> <p>校内で新型コロナウイルスが発生した場合の学校閉鎖の基準を公表し、閉鎖期間に基づき、感染拡大の影響について分析した。</p> <p>「新型コロナウイルス感染症患者からの臨床検体を採取、処理、検査に関する暫定ガイドライン（COVID-19）」を発表した。</p> <p>サンプルの安全な採取と処理を確実に実現するために、サンプルの採取と処理方法を標準化した。</p> <p>薬局関係者の保護に関する勧告を公表</p> <p>1. 薬局に入る人は必ずマスクを着用し、薬局のスタッフも常にマスクを着用しなければならない。</p> <p>2. 病気の従業員には自宅療養を勧める。</p>

	<p>3. 調剤時の保護に関する推奨事項（カウンターにアルコール、または手指消毒剤を用意する。紙の処方箋を扱わず、可能な限り電話や電子メールで処方箋を記載するように勧める。また、直接手渡すのではなく訪問者が回収できるようにカウンターに薬を包装しておく。間接配送）</p> <p>4. 訪問者との接触を減らす（社会的距離を維持し、カウンターに飛沫防止パネルパーテーションを設置する。消毒の強化、待合室での雑誌などの公共物の使用中止、セルフ決済の推奨）</p> <p>緊急でない輸送車両の清掃と消毒に関する推奨事項を発表した。</p>
4月15日	<p>通航禁止を100日間延長し、7月24日まで延長される見込み</p> <p>「新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている医療施設において、医療従事者の潜在的な曝露に伴うリスク評価と公衆衛生管理に関する暫定ガイダンス2019」を発表した。</p> <p>英文名：Interim U.S. Guidance for Risk Assessment and Public Health Management of Healthcare Personnel with Potential Exposure in a Healthcare Setting to Patients with Coronavirus Disease 2019 (COVID-19)</p> <p>医療従事者が直面する感染リスクを分類し、それに相応する対策を定めた。</p> <p>医療従事者の感染リスクお分類と対応策の提示</p> <p>高リスク：新型コロナウイルス感染症患者との長期にわたる密接な接触</p> <p>中リスク：マスクを着用した新型コロナウイルス感染症患者との長期にわたる密接な接触</p> <p>低リスク：新型コロナウイルス感染症患者との短期間の交流、または布製マスクやマスクを着用した患者との長期間にわたる密接な接触</p> <p>リスクのレベル別の対応策</p> <p>高・中リスク：医療施設での業務を制限し、14日間の積極的な医療モニタリングを行う。症状が現れたら自己隔離し、更なる評価のため、医療機関に移す。</p> <p>低リスク：医療施設での業務に制限はなく、14日間の積極的な医療モニタリングを行う。症状が現れたら自己隔離し、更なる評価のために医療機関に移す。</p> <p>「新型コロナウイルス感染症における対応策：長期療養施設、介護施設」を発表</p> <p>英文名：Preparing for COVID-19: Long-term Care Facilities, Nursing Homes</p>

	<p>キーポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 無症状の新型コロナ感染者が施設に入ることを防ぐ。 2. 感染を早期に発見し、感染拡大を抑制する。 3. 個人保護具の状態を確認する。 4. 重篤な疾患に対する迅速な診断と対応 <p>関連措置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療関係者や訪問者の自己防衛に関するトレーニングを行う。 2. 新型コロナの症状を呈する医療従事者の評価と管理 3. 訪問者に対して厳格なスクリーニングを行う。 4. アルコール、手指消毒剤などの提供と感染防止行動の遵守（社会的距離を保ち、咳をする際に飛沫が飛散しないようにする） 5. 専用の隔離区を設けて患者である住民の世話をする 6. 感染が確認された居住者に対する評価と管理 7. その他の措置（食事を含むすべての公共活動の中止、社会的距離を保つための住民への注意喚起、外出時のマスクを着用）
	<p>新型コロナにおいて妊婦の保護に関する推奨事項を発表した。</p>
	<p>「米国以外の医療機関における新型コロナ感染が疑われる感染者を分類するための標準作業手順書（SOP）：分類過程での早期発見と感染予防」を発表した。</p> <p>英文名：Standard Operating Procedure (SOP) for Triage of Suspected COVID-19 Patients in non-US Healthcare Settings: Early Identification and Prevention of Transmission during Triage</p>
	<p>地域で新型コロナの感染症の拡大した際の関係者の対応策 （ヘルスコミュニケーションの専門家による発表）</p> <p>新型コロナが発生する前にすべきこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナ感染症に関する予防と非薬理的介入に関する対策と推奨事項を熟知する。 2. 緊急時連絡計画の更新（他の関連スタッフとコミュニケーションを維持し、情報を共有する） 3. コミュニティのメンバーが新型コロナに備えることができるように助ける。 4. 新型コロナに関する情報を積極的に提供する。 メディアとの交流を通じて新型コロナに関する知識を広報する。

	<p>新型コロナが急拡大した時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急時対応計画を実施する（常に新型コロナの感染状況を把握し、非薬物的療法を提供し、日常的な予防措置を継続的に強化する） 2. 関連業務の進捗状況を随時評価し、状況に応じて関連するメディアを管理する（デマの払拭） <p>新型コロナが収束された時</p> <p>作業の効果を評価し、経験と教訓を総括する。</p>
4月17日	<p>新型コロナに感染した児童の臨床病状を総括し、小児科医の診断のために助言する。</p> <p>新型コロナ感染症の発生を防ぐために、タクシードライバーと郵便・小包の運転手の対応措置について発表した。</p>
4月18日	<p>家族の活動に関するガイダンス</p> <p>対象：新型コロナ感染症にかかりやすい人（家族の中に新型コロナ感染症にかかりやすい対象がいる場合、家族全員は高リスクのグループに含まれる）</p> <p>高リスクのグループは、以下のような措置が必要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外出制限 <ol style="list-style-type: none"> 1) 家族の外出は、必ず必要な場合のみのし、感染リスクの低い人を選んで外出し、その人数は二人以下とする。 2) 布製マスクを着用する。 3) 公共交通機関を利用する場合、6フィート以上の社会的距離を確保する。運転する場合、家族以外の人と一緒に乗らず、車内の換気を行い、同乗者間の社会的距離を確保する。 4) 帰宅後すぐに手を洗う。 5) 家庭内の高リスク者との接触は可能なかぎり避ける。 2. 新型コロナ感染症にかかりやすい家族は、子供の世話を避ける。 3. 自宅で隔離療養している患者には、可能であれば、独立した寝室とトイレを提供する。独立した寝室とトイレがない場合、換気を行い、できるだけ、他の家族と接触しないようにする。
4月21日	新型コロナの簡易スクリーニング方法を発表
4月22日	ホームレスにおける新型コロナの感染防止に関する関連措置の更新 関連する関係者への保護を強化した。
4月23日	ペットや他の動物がいる家庭での介護と隔離において、新型コロナ感染症患者を管理するための公衆衛生専門家による暫定ガイドライン

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家の中のペットに以下の症状（発熱、咳、息苦しさや息切れ、だるさ、昏睡、くしゃみ、鼻水、嘔吐、下痢）あ出たら、速やかに獣医に連絡する。 2. 自宅療養中の患者は、ペットとの接触や触れる（撫でるなど）ことをできるだけ避ける。 3. 獣医とのコミュニケーションを保ち、情報へのアクセスを確保する。
4月24日	<p>代替医療機関の注意事項を公表</p> <p>Considerations for Alternate Care Sites</p> <p>患者の状態に応じて、非急性期看護、病院看護、急性看護という三つの等級を設定する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物理的な基礎施設（全体のレイアウト、換気設備、貯蔵室、床など）、サービス（フードサービス、環境サービス、衛生、洗濯施設など）、患者ケア（スタッフの配置、感染予防アイテム、個人防護具、衛生）の三つの側面から規範化する。
4月25日	<p>シェアハウス・集団住宅において新型コロナの感染の予防に関するガイドラインを公表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運営の安全を確保する。 2. スタッフに自分と他人を守るための準備を促す。 3. スタッフと居住者とのコミュニケーションを確保する。 4. 特定の共有スペースでの注意事項（キッチン、ダイニング、洗濯室など）を公表する。 5. 一般的な共有スペースでの注意事項を公表する
4月30日	<p>さらにマスクの洗浄方法を具体化した。</p> <p>医療従事者の不足を解消するための方案（4.13 発表）を更新し、新たな職場復帰基準を適用した。</p> <p>使い捨て手袋の供給を最適化した。</p> <p>4月15日に発表された「新型コロナに備えた長期療養施設、介護施設、その他の施設」を補足する。</p>
5月2日	<p>医療従事者の復帰基準をさらに緩和した。</p>
5月3日	<p>『海外旅行やクルーズ旅行に伴う潜在的な新型コロナの曝露に関する公衆衛生ガイドライン』を更新した。</p> <p>Public Health Guidance for Potential COVID-19 Exposure Associated with International Travel or Cruise Travel</p> <p>更新内容</p>

	<p>感染が拡大している国（中国、イラン、イギリスとアイルランド、ほとんどのヨーロッパ諸国）への旅行から帰国した場合、14日間自宅で隔離し、1日2回、体温測定と症状の確認をする。</p> <p>新型コロナの感染拡大が継続している国から旅行しする際には、関連症状に注意する。</p>
	<p>4月8日歯科医院むけガイドラインを更新</p> <p>更新内容</p> <p>柔軟な非懲戒の病気休暇制度を設ける。</p> <p>医療従事者は診断時に個人保護具（マスク、手袋、防護服、ゴーグルなど）を着用する必要がある</p>
5月4日	<p>血液および血漿採取ステーションのに関するガイドラインを追加し、更新した。関連スタッフの安全をさらに保護</p>
5月5日	<p>「新型コロナ感染症患者から臨床検体を採取、処理、検査に関する暫定ガイドライン（COVID-19）」を更新した。</p> <p>新型コロナ検査の優先順位を設定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 症状のある入院患者、医療従事者、症状のある救急隊員、長期介護施設、またはその他の集団生活環境（刑務所と避難所を含む）にいる症状のある人を、新型コロナ検査の最優先の対象とする。 2. 無症状感染者は、2番目の検査対象とする。 <p>さらに個人保護具の供給戦略を最適化した。</p> <p>乳児への感染を防ぐため、母乳の暫定ガイドラインを提案した。</p>
5月6日	<p>社会的距離を保つことの重要性と社会的距離を効果的に確保する方法について広報する。</p>
5月7日	<p>大規模集会の中止や延期の要因を更新した。</p> <p>新型コロナの感染者が確認された地域の消毒に関するガイドラインを発表した。</p> <p>「新型コロナ感染症（COVID-19）において矯正施設と拘置所の管理に関する暫定ガイドライン 2019」を発表した。</p> <p>対象：矯正施設と拘置所（連邦と州の刑務所、地方の拘置所と拘置所を含むが、これらに限定されない）、被拘束者に対する監督権を持つ法執行機関（すなわちアメリカ合衆国移民、税関執行局、連邦保安官局）、及びそれぞれの衛生部門の医療及び非医療管理スタッフ</p> <p>関連措置：</p>

<p>1.コミュニケーションと協力の確保</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)地域の衛生（保健）機関との協力関係の維持と情報の共有 2) 緊急計画を確認し、新型コロナの特定の状況に対応して修正する。 3) 地域の法執行機関と裁判所関係者と協力し、バーチャルコートなどを利用して接触を減らす。 4) 施設内に新型コロナの症状と衛生管理に関する掲示物を貼る。また、スタッフに症状が現れたら直ちに施設を離れ、自宅で隔離する。収容・拘禁者に症状が出た場合は、速やかにスタッフに報告する。 <p>2. 人員の調整</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) フレキシブルな病気休暇制度の導入 2) 業務内容に応じて在宅勤務可能なスタッフを把握し、決める。 3) スタッフの勤務状況を随時把握する。 4) スタッフが不在の場合でも施設運営を稼働・維持させることを検討する。 5) 施設内のすべての人（収容・拘禁者及びスタッフ）に季節性インフルエンザワクチンを提供する。 <p>3. 施設の運営及び関連物資の供給</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 十分に掃除をし、衛生用品及び個人保護設備を確保する。施設内で新たな新型コロナが発生した場合、必要に応じて関連物資を補充する。 2) 新型コロナの感染爆発が発生する際に起こりうる個人防護具の不足に備えて緊急時対応計画を指定する。 3) スタッフが勤務中に適切なサイズのボトル入り的手指消毒剤を携帯させ、手の衛生を確保できるよう規制を緩和する。 4) 収容・拘禁者に十分な石鹸と手指消毒剤を提供する。 5) 施設内のすべての人が個人保護具の適切な着用及び新型コロナ感染症に関する教育を受けることを確保する。 <p>4. 消毒の強化</p> <p>5. 人員管理の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 収容・拘禁者：共有スペース、レクリエーションエリア、ダイニンググループの使用に関する基準を設定し、集団活動の制限、新型コロナの最新情報を提供する。また、収容・拘禁者からの質問に答える医療従事者を手配する。 2) スタッフ：柔軟な病気休暇制度を手配、施設に入る前の口頭での問診体温測定を行い、呼吸器疾患のある人との接触時間を減らす。 3) 訪問者：接触訪問を避け、訪問者の出入り口に消毒液を用意し、訪

	問者は施設に入る前に口頭での問診と体温測定を行う。
	給水システムの衛生を確保するためのガイドラインを更新した。
5月11日	<p>新型コロナ感染症患者を受け入れている医療機関の医療従事者の新型コロナ感染症の潜在的なリスクの評価と公衆衛生管理の暫定ガイドライン」を更新した。</p> <p>更新の内容：潜伏（接触）期間中の新型コロナの感染症の計算が新型コロナ感染症患者の発症の48時間前から開始されるように更新された。</p> <p>家庭用品を購入する際に、より良い自己保護に関する指導を行った</p>

出典：CDC 公式サイトより作成

3.3 復職準備段階（5月12日～5月17日）

復職準備段階の感染状況は、図4のように、米国内の感染者数は、減少傾向を示していない。しかし、全米各地で復職の傾向が見られ、その結果、CDCは職場での関連する予防措置を発表し始めた。

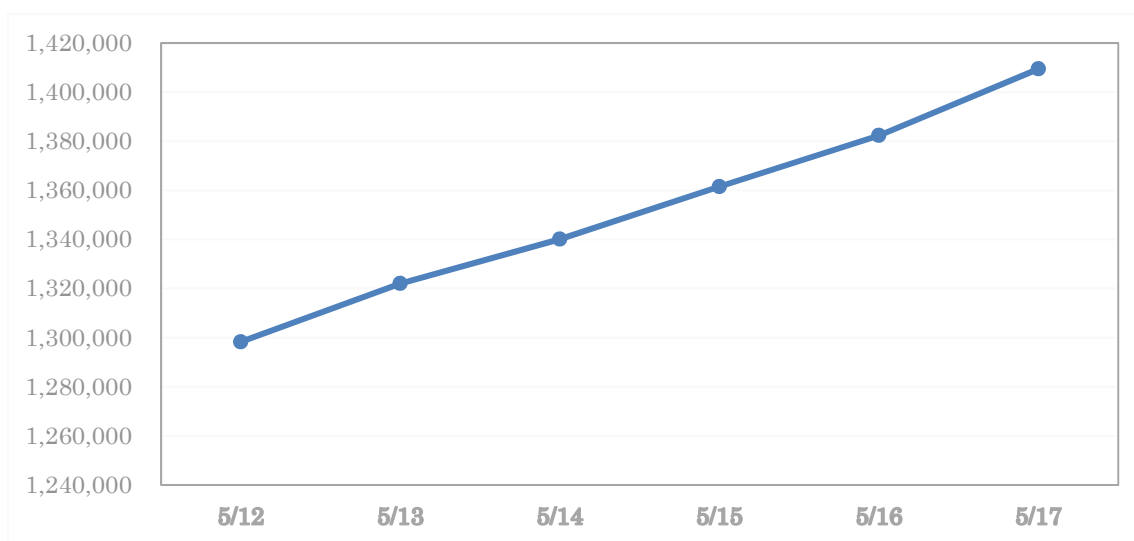


図4 米国における新型コロナ感染症の感染者数の推移
(2020年5月12日～5月17日)

出典：「世界保健機関」より作成

5月12日以降の米国の具体的な対応策は、表3に示すように、関連する疾患の対応策の更新と補足を続ける一方で、業界の状況に応じて保護措置を更新し始めているのがわかる。

表3 米国の具体的な対応策（2020年5月）

日付	主な対応策
5月12日	<p>「COVID-19 対応期間中にペットを治療する獣医診療所の感染予防と管理のための暫定ガイドライン」を発表した</p> <p>英文名：Interim Infection Prevention and Control Guidance for Veterinary Clinics Treating Companion Animals During the COVID-19 Response</p> <p>獣医がペットを診断する際の自己防衛のためのガイドライン</p> <hr/> <p>「食肉加工および家禽処理業の従業員と雇用者に対する CDC 及び米国労働安全衛生局（OSHA）の暫定ガイドライン」を発表した。</p> <p>英文名：Meat and Poultry Processing Workers and Employers Interim Guidance from CDC and the Occupational Safety and Health Administration (OSHA)</p> <p>対応策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナの感染拡大を防ぐためのスタッフと管理者のトレーニング 2. 食肉・食鳥加工の消毒と清掃の改善 3. 従業員に対する管理を強化する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 従業員全員の健康検診（検温など） 2) 病気の従業員の管理を強化する（関連症状のある場合は、直ちに隔離し、病気の従業員を適切に保護する。また、病気の従業員の身元を秘密にする） 3) 仕事に復帰した従業員に対して追加の安全保護を提供する。 <hr/> <p>「製造業の従業員と雇用者に対する CDC と米国労働安全衛生局（OSHA）の暫定ガイドライン」を発表した。</p> <p>英文名：Manufacturing Workers and Employers Interim Guidance from CDC and the Occupational Safety and Health Administration (OSHA)</p> <p>対応策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハード対策 <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会的距離を保つ。 2) バリアを設置し、従業員を仕切る。 3) 空調設備を整備し、作業エリアを換気する。 4) 工場内の高温被害を防ぎつつ、ファンの使用を最小限に抑える。 5) 複数の洗面台を設置し、手指消毒剤を提供する。 6) 人の流れを変えるために、追加の出勤カードを打つ場所を提供する。

	<p>2. 管理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 必要な従業員のみ、施設へのアクセスを許可する。 2) 不要な会議を中止し、必要な会議であれば出席者数を減らす。 3) 従業員に距離を保つように勧める。 4) 従業員に社会的距離を保つよう、視覚的なヒント（例：床のマークと標識など）を提供する 5) フレキシブルな病気休暇制度を導入する。 6) 従業員に清潔で衛生的な備品を提供する。 <p>3. 保護物資を備蓄する。</p> <p>4. 従業員が管理されていることを確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 従業員全員の健康検診（体温測定など） 2) 病気の従業員の管理を強化する（関連症状のある場合は、直ちに隔離し、病気の従業員を適切に保護する。また、病気の従業員の身元を秘密にする） 3) 仕事に復帰した従業員に対して追加の安全保護を提供する
5月13日	<p>家庭用消毒ガイドラインを更新した。</p> <p>妊婦の新型コロナに関する注意事項を更新した。 更新の内容：授乳中の方への注意事項と妊婦の注意事項を統合した。</p> <p>「ホームレスサービス提供者と地方自治体の職員向けのホームレスと新型コロナ感染症に関する暫定ガイドライン 2019」を更新した。 スタッフの保護を強化した。 ホームレスの居住地に対する衛生条件の改善を強化した。</p>

出典：CDC 公式サイトより作成

図4から見られるように、米国における新型コロナ感染症の感染者数の増加スピードは衰えていない。しかし、米国は、すでに関連産業の再開に向けた対応策を講じている。

4. まとめ

- 1) 米国における新型コロナの感染状況と関連する対策から見ると、当初は、新型コロナ感染症に対する関心の低さによって国内での感染拡大を引き起こし、新型コロナ感染症の感染者数が急増した。そのため、医療従事者や医療用品の不足に悩まされるようになり、米国政府は、院内感染の防止と医療従事者の保護強化に力を入れるようになった。2020年5月12日以降、米国の感染者数が減少する傾向はなかったが、全国各地で相次いで業務を再開しており、政府も仕事の再開に支援するための一連の保護措置を発表した。しかし、新型コロナ感染症の感染者数が減少傾向にない状況で、業務再開の準備を始め

ることは大きなリスクが伴う。

- 2) 米国は1月21日に初となる新型コロナウイルス感染症の症例が確認されたと発表し、中国は1月23日に武漢の封鎖を発表した。米国は3月14日に国家緊急事態宣言を発表しており、中国は少なくとも米国に50日間の制御できる時間を与えている。米国は今日の結果によって他の国を非難する資格はない。
- 3) 3月14日以降、米国のインフルエンザ感染者数は増加も減少もせず、変わっていない。こうした現象は、過去にはなく、不可能な現象である。したがって、現在、発表されている新型コロナウイルス感染症の感染者数には、相当な数のインフルエンザ患者が含まれている可能性がある。また、3月14日まで発表されたインフルエンザの感染者数には、新型コロナウイルス感染症の感染者が含まれている可能性がある。

参考文献

- ・世界保健機関

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/situation-reports/>

(最終アクセス日：2020.5.18)

- ・米国 CDC 公式サイト

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/communication/guidance->

[list.html?Sort=Date%3A%3Adesc&Page=6](https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/communication/guidance-list.html?Sort=Date%3A%3Adesc&Page=6) (最終アクセス日：2020.5.18)